

施策別取組方針調書

基本目標		1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり					外部評価に対する考え方	今後の取組方針
平成29年度の評価と課題								
施策名	KPI指標名	平成29年度KPI値結果	平成29年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、平成31年度に実施すべき取組		
(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率 (彦根管内)	1.98	1.35	○	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 彦根管内では、近年、非常に高い求人倍率で推移しています。当初、求職者の就職環境の整備が課題と想定していましたが、企業の人手不足への対応へと変わってきています。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人手不足が非常に大きな課題とされます。 人手不足が原因となり、企業の進出が滞る可能性があると思われます。 中小企業の就職環境を改善する必要があると思われます。 優良な企業が多い反面、企業のことをよく知らない求職者が多いと思われます。 	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏などの第二新卒の世代や、UIJターン就職希望者をターゲットとして、彦根地区の企業を売り出し、地域雇用の安定に資する取り組みを検討していきます。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期的な視点で生産性を向上させ、労働力の流動性を高める取組が必要ではないでしょうか。 求職者に対し、企業をPRしていく必要があるのではないのでしょうか。 企業のPRの方法や補助金等の支援についても、検討していく必要があるのではないのでしょうか。 説明会等の告知の方法についても、より有効に実施できるよう、検討してはどうでしょうか。 大都市圏へ出向いて就職説明会をすることなども検討してはどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでから、本市では、市内事業所のほか、公共職業安定所、商工会議所、市等で構成する彦根地区雇用対策協議会の取組において、合同企業説明会等を開催し、市内企業への就職の促進に努めてまいりました。 今後とも、ご指摘のPR等について、効果的な方法を検討しながら、継続して実施していきたいと考えています。 平成30年度において、首都圏などの第二新卒の世代や、UIJターン就職希望者をターゲットとして、彦根地区の企業を売り出し、地域雇用の安定に資する取組を検討することにしていますので、こうした研究の成果を事業に反映していくことにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種雇用施策に関する先進事例等の情報収集を積極的に行い、雇用対策協議会の取組が、より効果的になるよう努めてまいります。
	工業製品等出荷額 (億円)	7,150	5,830	○	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の高水準の確保が課題です。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業の就職環境を改善する必要があると思われます。 	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現企業立地促進制度の周知に努め、各種企業誘致施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図っていきます。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 求職者に対し、企業をPRしていく必要があるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の就職環境の改善につきましては、国・県・各種団体の支援策を活用しながら、啓発等のソフト面、設備改善等のハード面を併せて進めて行く必要があると考えています。こうしたことから、現在、商工会議所に委託している「地場産業等支援事業」などを通じて、必要な支援を行っていきたくと考えています。 企業PRについては、上述のとおり雇用対策協議会の取組において、積極的に行っていきたくと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用対策協議会の取組および「地場産業等支援事業」を継続して行い、地元での就職環境を整えるとともに、中小企業の経営環境を整えるため、国・県・関係団体の各種支援策を講じていきます。
	工場等設置奨励措置件数(件)	79	64	○	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の高水準の確保が課題です。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人手不足が原因となり、企業の進出が滞る可能性があると思われます。 	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現企業立地促進制度の周知に努め、各種企業誘致施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図っていきます。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期的な視点で生産性を向上させ、労働力の流動性を高める取組が必要ではないでしょうか。 補助金等により機械化を進め、生産性の向上を図ることを検討してはどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に中小零細企業の設備投資を促進するため、平成29年4月1日に「工場等設置奨励条例」を全面改正し、中小零細企業の該当要件の緩和等を行った「企業立地促進条例」を施行しました。 本市では、生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画を策定していますので、中小企業者が計画期間内に、労働生産性を一定程度向上させるため、先端設備等を導入する計画を策定し、彦根市の導入促進基本計画に合致する場合は、本市より計画の認定を行い、税制支援や金融支援などの支援措置を活用することができます。 こうした施策を活用しながら、生産性の向上や設備投資による市内工業の発展を促していきたいと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、制度や各種支援策等の周知に努めていきたくと考えています。
(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出	起業者数 (人)	54	57	×	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 起業を具体的に考えている層だけではなく、明確に意識していない層への周知や働きかけが必要です。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援機関が連携し、大学が多く、若者が多いという立地を活かして、起業家に手厚いまちだということを打ち出していく必要があるのではないのでしょうか。 	<p>(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各支援機関と連携を密にして、制度の浸透を図るための方策を検討していきます。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援機関が連携し、大学が多く、若者が多いという立地を活かして、起業家に手厚いまちだということを打ち出していく必要があるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各支援機関である彦根商工会議所と稲枝商工会と連携して、「彦根市創業支援事業計画」等の効果的な制度周知の方法等を検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援計画や創業支援制度の周知のほか、本市の支援事業であるチャレンジショップ事業などを継続していきたくと考えています。

施策別取組方針調書

基本目標		1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり					外部評価に対する考え方	今後の取組方針		
平成29年度の評価と課題										
施策名	KPI指標名	平成29年度KPI値結果	平成29年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、平成31年度に実施すべき取組				
(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇産地生産額(百万円)	2,550	2,937	×	(内部) ・人口減少やライフスタイルの変化、経済的な要因等による需要の減少が課題となっています。	(内部) ・彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に規定する「仏壇の技術を活かした新商品の開発」、「海外市場の調査」等の取組に対する支援を確実に実施していきます。	<p>・現在、彦根仏壇では、各個店の他、彦根仏壇事業協同組合の若手で組織する「染十(ななぶらす)」などが、現在の住宅事情や家庭事情にマッチした仏壇や仏壇の技術を活かした新製品の開発を積極的に行っているところであり、本市も、平成27年度に策定した「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき組合活動に対する補助金の中で「新意匠開発」を補助対象としているところ。</p> <p>・平成30年度からは、仏壇や仏壇の技術を活かした商品の海外展開を検討するため、「彦根仏壇海外展開支援事業」をジェトロ滋賀に委託して実施しています。</p>	<p>「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、彦根仏壇事業協同組合の支援を継続して実施していきたいと考えています。</p> <p>・当該計画の主な取組としましては、彦根仏壇の知名度向上による販路拡大、仏壇の技術を活かした新商品の開発などです。</p> <p>・新商品の開発では、インターンシップ制度の活用により受け入れた学生のアイデアから新たな商品化が実現したと聞いており、彦根仏壇事業協同組合と大学等との連携について、検討していきます。</p>		
	彦根バルブ産地生産額(百万円)	24,924	23,080	○	(内部) ・公共事業の状況や造船需要等による需要の変動が課題となっています。	(内部) ・彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に規定する「従業員の定着・地元雇用」、「ピワライトの国内販路拡大」等の取組に対する支援を確実に実施していきます。			<p>「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、各種支援を実施しているところ。</p> <p>・本市では、生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画を策定していますので、この制度を周知することにより生産性向上のための設備投資を促していくほか、各種支援策も適切に利用いただけるよう、広報していきます。</p>	<p>「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づく取組を継続するほか、今後とも、制度や各種支援策等の周知に努めていきたいと考えています。</p> <p>・当該計画の主な取組としましては、バルブでは、従業員の定着率の向上および地元雇用の確保、大学や研究機関等との連携による技術開発および産地ブランドの向上などです。</p>
	彦根ファンデーション産地生産額(百万円)	2,900	2,937	×	(内部) ・OEM中心の業界であり、発注価格の低迷や発注の海外シフトなど社会・経済的要因による生産量や需要の減少が課題となっています。	(内部) ・彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に規定する「企業連携による販路拡大戦略の策定」や「各種支援策を活用した新商品の開発」等の取組に対する支援を確実に実施していきます。				
(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	認定新規就農者数(人)	5	7	×	(内部) ・平成29年度においては、市が認定する新規就農者は無しです。	(内部) ・新規就農者の確保を図るため、本市の特徴ある農業者を若者等にPRしていきます。	<p>・ご指摘のとおり、商工会議所、観光協会、JAとは連携して特定のイベントを3年間行い、特産品「ひこね梨」のPRに成功し、これまで多くのマスコミに取り上げてもらい知名度を向上させました。</p> <p>・この経験や連携体制を活かして、次の特産品創出を行っていきたくと考えています。</p>	<p>・収益性の高い特産品の創出を図りながら、引き続き、本市の特徴ある農業者等を本市独自に開設したウェブサイトで紹介しており、市外や県外からの新規就農希望者を積極的に誘致し、新規就農者の確保に努めていきたいと考えています。</p>		
	6次産業化に取り組む事業者数	3	5	×	(内部) ・平成29年度においては、6次産業化に関する総合化事業計画の承認を国から得た事業者は無しです。	(内部) ・園芸栽培や6次産業化の取組を底上げするために、特産品の創出を図っていきます。			<p>・JA、観光産業、マスコミ、金融機関、商工会議所等で連携した取組を検討してはどうでしょうか。また、そうした連携が進むような場を作ってはどうでしょうか。</p>	<p>・JA、観光産業、マスコミ、金融機関、商工会議所等で連携した取組を検討してはどうでしょうか。また、そうした連携が進むような場を作ってはどうでしょうか。</p>

施策別取組方針調書

基本目標		1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり					外部評価に対する考え方	今後の取組方針
平成29年度の評価と課題								
施策名	KPI指標名	平成29年度KPI値結果	平成29年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、平成31年度に実施すべき取組		
(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人)	15	15	○	(内部) ・説明会への参加者が少なく、参加者数の増加が課題です。また、参加事業所の取組意欲に差があり、全体的に意欲の向上を図る必要があります。	(内部) ・来場者数を伸ばすため周知方法、開催内容の見直しを図るとともに、説明会を活用して人材確保を推進しようとする参加事業所の取組姿勢の改善を求めていきます。	・施設見学会つき説明会については、事業者ごとに実施する必要があると考えています。また、既に公共職業安定所において開催されているため、同じような説明会の実施は考えていませんが、いただいたご意見を参考に、福祉用具の展示や実演など、福祉の職場を感じていただけるような内容を検討していきます。	・来場者数を伸ばすため、説明会を開催する曜日、場所、実施内容を検討します。 ・引き続き、説明会を活用して人材確保を図ろうとする参加事業所の取組姿勢の改善を促します。
	ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)	15	6	○	(内部) ・研修や講座を最後まで修了できない、また修了するが得られた資格を活かした就労に結びつかないことがあります。	(内部) ・助成対象者に対し、受講中から資格取得後の求職活動までのフォローと、就職後のアフターフォローまでを計画的に行っていきます。		
(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人)	3,417,600	3,400,000	○	(内部) ・国宝・彦根城築城410年祭や大河ドラマの影響もあり、観光客数実人数は前年度に比べ増加しましたが、一人あたりの訪問地点数の増加は見られず、観光入込客数としては伸び悩んでいます。このことから、一人当たりの訪問地点の増加策が必要です。	(内部) ・彦根城だけではなく、その周辺等への誘客を図るなどし、より長く滞在していただける施策が必要です。このため、平成30年度は「ひこにゃん」を四番町スクエアにも登場させる変更や京橋口駐車場にレンタサイクル拠点を新設するなどして、引き続き市内周遊を促進させる取組を実施していきます。	・琵琶湖一周サイクリングいわゆるピワイチについては、県が積極的に推進しているところであり、県内市町の役割としては、ピワイチ・プラスとして位置づけられている「湖岸から市町域への周遊」が求められています。 ・本市では愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町とで組織する湖東定住自立圏において、「ぐるっと湖東路周遊促進事業」を実施しており、サイクルマップのモデルコースをもとにしたサイクルツアーを実施しているところです。	・市内周遊を促進するため、彦根城だけでなく、その他の訪問地点の増加に取り組めます。
	観光消費額(億円)	197	180	○	(内部) ・日帰り客の観光消費額が大幅に増加したことにより、目標値を超える結果となりましたが、一過性のものとならないようさらなる増加策が必要です。	(内部) ・宿泊客を宿泊させるだけではなく、飲食・土産購入・体験サービスなどの機会を充実させるとともに、経済波及効果を高めるため、観光コンテンツの開発やPRの充実に取り組んでいきます。		
	市内宿泊者数(人)	413,400	340,000	○	(内部) ・市内宿泊者数は目標値を超えていますが、観光地の活性化には、宿泊者数の全体的な底上げを図る必要があります。	(内部) ・宿泊を促すためには、滞在いただける仕組みや魅力が必要です。彦根城のライトアップ等の夜間における取組を充実させるとともに、宿泊施設ごとの魅力づくりと連携した取組を検討していきます。	・本市内の宿泊施設の稼働率は、春・秋の観光シーズンにおいても70%から75%程度であることから、まずは宿泊率を向上させる必要があると考えます。 ・町屋等の活用につきましては、民泊に限らず小江戸ひこね町屋コンソーシアムと連携し、空き町屋の情報共有を図り、多様な活用につながるよう努めていきます。	・宿泊を促すため、彦根城のライトアップ等夜間における取組を行うとともに、宿泊施設と連携した取組を推進します。 ・外国人観光客の宿泊者が彦根を主要な観光地として来訪いただけるよう、インバウンドにおける受入環境の整備、情報発信などの取組の充実を年次的に進めていきます。
				(外部) ・様々な形の宿泊観光のプランニングをするなど、夜間の観光誘客を強化してはどうでしょうか。	(外部) ・彦根城周辺だけでなく琵琶湖岸も含めた広い地域でサイクリングルートをPRするなどしてはどうでしょうか。			
					(外部) ・様々な形の宿泊観光のプランニングをするなど、夜間の観光誘客を強化してはどうでしょうか。	(外部) ・町屋等の活用も含めた、民泊の推進について、検討してはどうでしょうか。		

施策別取組方針調書

基本目標		1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり					外部評価に対する考え方	今後の取組方針
平成29年度の評価と課題								
施策名	KPI指標名	平成29年度KPI値結果	平成29年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、平成31年度に実施すべき取組		
(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	外国人観光客数(人)	77,984	90,000	×	(内部) ・外国人観光客数は、宿泊費の高騰などにより、大都市圏から近隣地方への宿泊へと移行してきたが、都市圏での宿泊施設の供給が追い付いてきたこともあり、地方は減少に転じています。この傾向は県下同様であることから、広域での外国人観光客の誘客が必要です。	(内部) ・広域の連携組織である「公益社団法人びわこビジターズビューロー、びわ湖・近江路観光圏」などでの更なる誘客促進を図るとともに、外国人観光客に彦根を主要な観光地として訪問いただけるよう受入環境の整備や多様な媒体による魅力の発信に取り組んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・海外における認知度の向上については、本市単独では厳しい面があり、県域の団体である「びわこビジターズビューロー」をはじめ、長浜市や米原市で組織する「びわ湖・近江路観光圏活性化協議会」などの広域の団体において情報発信をしているところです。 ・体験・アクティビティ等の取組については、近江ツーリズムボードが袴散策プラン、きき茶、角打ち(日本酒の飲み比べ)、金箔押しなどの体験メニューを平成30年9月から実施されており、これらは外国人観光客にも魅力があると思われます。 ・琵琶湖や湖岸も外国人観光客の興味を引く資源であり、これらを含めた体験型メニューを創出していけるよう引き続き支援してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の宿泊者が彦根を主要な観光地として訪問いただけるよう、インバウンドにおける受入環境の整備や情報発信などの取組の充実を図ります。 ・広域で連携する協議会である「びわ湖・近江路観光圏活性化協議会」や「びわこ湖東路観光協議会」、ならびに「びわこビジターズビューロー」とのさらなる連携により、リピーターへの誘客戦略の実施や複数泊を狙った広域ツアー等の開発を推進します。
	外国人観光客市内宿泊者数(人)	27,622	50,000	×	(内部) ・外国人観光客の宿泊者数は、大都市圏での宿泊費の高騰などにより、近隣地方への宿泊と移行してきた結果、増加傾向にありましたが、都市圏で宿泊施設の供給が追い付いてきたこともあり、地方は減少に転じています。この傾向は県下同様であることから、広域での外国人観光客の誘客が必要です。	(内部) ・広域の連携組織である「公益社団法人びわこビジターズビューロー、びわ湖・近江路観光圏」などでの更なる誘客促進を図るとともに、外国人観光客に彦根を主要な観光地として訪問いただけるよう受入環境の整備や多様な媒体による魅力の発信に取り組んでいきます。		
	歴史的風致維持向上施設の整備件数(件)	22	17	○	(内部) ・ハード、ソフトを含めて、継続的に取り組んでいく必要があります。	(内部) ・彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)を策定し、歴史的風致を後世に伝えるために、市民団体とともに町屋の活用などに取り組んでいきます。		
本市スポーツイベントへの参加人数(人)	34,997	27,480	○	(内部) ・(仮称)彦根総合運動公園、新市民体育センター等の整備期間中、新会場で円滑にスポーツイベントを開催していくことが必要です。	(内部) ・新会場でのスポーツイベントの開催に向け、課題の抽出および検討を行い、綿密な準備を進めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、(仮称)彦根総合運動公園、新市民体育センターの整備期間中で、新たなスポーツイベントの開催等は困難ですが、新施設完成後には、市民のみならず、より多くの方に参加してもらえるようなスポーツイベント等を検討していきたいと考えています。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウンやワールドマスターズゲームズ2021関西、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興にも取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、彦根シティマラソンをはじめとする各種スポーツイベントについて、開催時期、会場、内容等を関係団体と連携しながら実施しているところです。 ・開催後には振り返りを行い、今後も改善を重ねながら、引き続き開催できるよう努めます。 	